

令和6年度入学生 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科 の三つのポリシー（予定）

ビジネスコミュニケーション学科の学修成果		
本学科の卒業生は、身についた教養とビジネスに関する専門的知識・技能・情報リテラシーにもとづく問題提起・解決能力、表現力、コミュニケーション力を獲得し、ビジネスの場での協働と地域及び社会に貢献できる能力を有します。		
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>ビジネスコミュニケーション学科を卒業するためには、次のような資質や能力を身につけていることを求めます。</p> <p>【専門知識と教養】 ビジネスコミュニケーション学科が設置している総合ビジネスコース、総合医療事務コースの専門にかかわる科目を修得するとともに、幅広い視点から社会を理解する能力</p> <p>【専門性を活かす技能】 ビジネスや医療の現場に必要な情報技術や実務的な技能を応用して、実際の課題に対応できる能力</p> <p>【問題提起・解決能力】 業務を遂行するうえでの問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力</p> <p>【表現力・コミュニケーション力】 客観的な状況や自らの考えを適切な方法で伝えるためのプレゼンテーション能力と、現場で責任感をもって行動し、思いやる気持ちをもって協働できるコミュニケーション力</p>	<p>ビジネスコミュニケーション学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。</p> <p>【学科全体の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会における一般常識やビジネスマナーについて理解し実践するために、多様な科目を配置しています。 ●ビジネスや医療の現場で必要とされるコミュニケーション力を身につけるための科目を配置しています。 ●データを分析する能力を養うとともに、その結果を効果的にプレゼンテーションする技能を養成する科目を配置しています。 ●ビジネスや医療の現場で必要とされるコンピュータ技術に関連する科目を豊富に配置しています。 <p>【各コースの特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合ビジネスコースでは、ホスピタリティマインドをもち、ビジネスの現場で必要とされる知識を身につけ技能を養い、実践力を強化するための科目を配置しています。 ●総合医療事務コースでは、医療秘書・医療事務に必要な知識を身につけ実務能力を養い、実践力を強化するための科目を配置しています。併せて、患者やその家族を思いやる心を養う科目を配置しています。 <p>【デジタルライフビジネス学科・生活学科との関係】 本学科は、デジタルライフビジネス学科と生活学科と連係し、共通の専門科目を持っています。それらを履修することにより、情報処理やものづくりの技術をビジネスで活用する技法を身につけることができます。</p>	<p>ビジネスコミュニケーション学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めています。</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ビジネス実務、医療事務・医療秘書分野に関心をもち、主体的に学ぶ意欲があり、その分野で将来仕事をしていきたいと考えている人 ●多様化するビジネスや医療の現場でどのような専門性を身につければよいか、また多様な選択肢のある場で自分の可能性を探ってみたいと考えている人 ●コンピュータに興味があり、その技術を使っていろいろなビジネスや医療の分野で仕事をしてみたいと思っている人